

騒音・振動の技術支援

山本真理 石橋雅之 堀本泰秀 渡邊剛久

1 はじめに

騒音・振動の規制に係る事務は主に市町村が行っている。このため、当センターでは、大気保全課と協力し、市町村職員の騒音振動測定技術の向上を目的に講習会を実施している。

また、市町村等からの要望に基づき、個別事例の調査や指導に関する技術支援を随時実施している。

2 騒音・振動測定講習会

市町村職員等騒音・振動測定技術講習会は初級と中級に分けて、毎年6月頃に実施している。2010年度以降の参加者数を表1に示す。

表1 講習会の参加状況(騒音・振動)

年度	参加者数(人)	
	初級(3日)	中級(2日)
2010	23	9
2011	24	6
2012	27	9
2013	35	16
2014	30	6
合計	139	46

2・1 初級講習会

初級講習は主に初めて騒音振動に携わる職員が苦情処理で必要とされる騒音計や振動レベル計などの操作方法について実技を中心に習得してもらうものである。



図1 振動レベル計操作実習

2・2 中級講習会

中級講習はある程度経験を積んだ職員がより高度な測定技術の習得を目指し、データレコーダ録音、周波数分析、低周波音レベル計の操作方法など、問題解決に向けた測定技術の習得をしてもらうものである。



図2 周波数分析の実習

2・3 効果的教育法の開発

騒音測定方法の変更及び苦情の傾向を踏まえ、市町村職員へのアンケート等から、毎年度講習内容を見直すとともに、より実践的、効果的教育法の開発を行っている。

3 個別事例の技術支援

市町村では、苦情相談の窓口として常に対応が求められる状況にある。また、机上の学習とは異なり、様々な測定上の制約や苦情の把握に時間を要する事例も多い。このため、当センターでは定期的な講習会とは別に、市町村等からの依頼により個別事例の技術支援も行っている。

3・1 技術支援の状況

2014年度における市町村等への騒音・振動の技術支援は11件であり、その概要を表2に示す。

内訳は、騒音に関するものが5件、低周波音に関するもの5件、振動に関するもの3件で(重複あり)ある。

また、苦情対象（発生源）としては、空調設備等、工場・事業場の設備機械に係るものが4件、個人住宅が2件、その他発生源不明とするものが2件あった。技術的支援の内容としては、機器操作の実技指導、測定方法・測定場所の助言、測定データの解析方法及び測定結果の評価に関するものが多く、状況に応じて対応している。

近年、低周波音に係る苦情が目立っており、適切に

測定・評価することが求められている。

4 まとめ

市町村では、常に苦情対応を求められる状況にある。当センターは、技術支援が必要な苦情の傾向等を把握し、市町村職員等技術講習会（騒音・振動測定技術）の内容に反映していく必要がある。

表2 技術支援の概要（2014年度）

No.	市町村等	公害の種類			発生源の種類	技術支援内容
		騒音	振動	低周波音		
1	八街市				工場設備	機器操作方法に係る実技指導及び測定結果に係る助言。
2	市原市				事業所設備 (空調機)	低周波音レベル計の操作等に係る技術支援及び結果のとりまとめ方法等に係る助言等。
3	印西市				個人住宅 (高周波:猫よけ)	機器操作方法に係る実技指導及び測定結果に係る助言。
4	印西市				不明	機器操作に係る実技指導及び測定場所等について助言。
5	南房総市				解体工事 (削岩機等)	機器操作方法及び設置方法の実技指導並びに測定方法について助言。
6	佐倉市				個人住宅 (エコキュート?)	低周波音レベル計の基本操作及び測定方法の実技指導と助言
7	市原市				道路交通振動	測定方法及びデータ集計方法について助言
8	八千代市				航空機騒音 (自衛隊)	機器操作方法説明、校正等実施。
9	市原市				工場設備 (天井走行クレーン等)	測定結果等の確認及び指導方法等について助言
10	成田市				不明	機器操作方法の実技指導及び測定場所等について助言。データ解析に係る技術支援等。
11	浦安市				ホテル設備? (空調機,冷却塔)	測定結果について助言。